

# 感性を磨く技術者教育とは

最近、Science、Technology、Engineering、Mathematicsを統合的に学習する「STEM教育」に、Artsを加えたSTEAM教育が注目されています。高専や大学におけるエンジニア養成においても、従来の工学教育に加えて、芸術やデザイン的な学びを導入する動きが出てきています。

特に、女性エンジニアの養成を考えるとき、「感性」を磨く教育は、女性の強みを伸ばす新たな試みと考えます。また、工学系への関心が低い女子生徒に対して、工学系教育とArts教育を組み合わせることで興味関心を高め、工学系高等教育機関への進学希望者の増加が期待できます。

そこで、本シンポジウムでは、技術者に必要なArtsとは何か、特に女性エンジニア養成におけるArtsの学びが果たす役割について考えていきたいと思います。

技術者教育におけるArts教育の意義について学ぶ

日本初の女子大での工学部設置構想を知る

高専での感性・表現力を育成する教育について知る

2020年2月22日(土)  
13:00~17:00

会場：奈良女子大学

コラボレーションセンター3階  
Z306教室

参加費：無料

対象：大学・高専教職員など

女性エンジニア養成に興味のある方  
STEAM教育に関心のある方

シンポジウム終了後に情報交流会(会費5000円程度)を実施します。希望者は、合わせてお申し込みください。

## 講演1 Arts教育と技術者教育

「今、なぜエンジニアにとってArts教育なのか？」

函館工業高等専門学校 一般系 教授 下郡 啓夫

科学技術と社会の関わりが深まる中で、エンジニアはどのように安全・安心して質の高い生活環境を提供できるのか、継続的に考えていく必要があります。また、社会と技術を俯瞰しながら、社会と多様なコミュニケーションをする場を創出、牽引することも求められます。そのようなエンジニアの人材育成において、なぜArtsが必要なのかを考えていきたいと思います。

## 講演2 女子大学にとっての工学とArts

「女子大学での工学そしてArts」

奈良女子大学 学長 今岡 春樹

技術の進歩を支える手段に「深さ」と「広さ」があります。この二つは交互に来る波で、今は「広さ」の大波が来ています。広さには多様なアイデアが必要で、そのために女性エンジニアの拡大が必要です。女性が自立する新たな道として女子大学に工学部をつくるのです。アイデアの源泉には文化差や個人差が関与しますがこれらをArtsと呼びます。

## 講演3 感性と表現力を磨く教育実践

「しなやかエンジニア教育プログラムによる感性と表現力養成」

奈良工業高等専門学校 女性エンジニア養成推進センター  
特命教授 顯谷 智也子

奈良高専では、主に女子学生を対象として、今年度より感性と表現力を養成する教育プログラムを実施しています。講演では、カリキュラムの紹介とプログラム1年目の実践結果を紹介いたします。

## パネルディスカッション

講演講師によるパネルディスカッションを行います。

## 参加申し込み方法

シンポジウムに参加をご希望の方は、奈良高専ホームページの申し込みフォームからお申し込みください。

申し込みフォームアドレス：<https://www.nara-k.ac.jp/inquiryform/2020/01/post-22.html>

申込締切：2月14日(金)

## 問い合わせ

奈良高専 女性エンジニア養成推進センター

☎0743-55-6102 ✉shinayaka@jimu.nara-k.ac.jp

後援：奈良女子大学

